

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



7月のアルミ概況及び8月の見通し (3)

■国内概況まとめ

◆自動車生産

日本生産動態統計によると、5月の自動車生産台数は、前年比+5.2%の69万433台。輸出は、前年同月比+1.2%の34万6,907台。

◆自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると、7月の自動車販売台数（軽除く）は、前年比-4.2%の25万2,196台。

◆住宅着工戸数

6月の新設住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比15.6%の減少となった。

また、季節調整済年率換算値では、前月比22.4%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は55,956戸

前年同月比15.6%減、3か月連続の減少

○新設住宅着工床面積は4,317千㎡

前年同月比16.6%減、3か月連続の減少

○季節調整済年率換算値では647千戸

前月比22.4%増、3か月ぶりの増加

◆アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会が発表した圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出の生産合計は前年比-1.4%の14万2,772 t。2か月連続のマイナス。

「板」は生産、出荷ともにマイナス。内需は「箔地」以外の主要分野で減少。半導体製造装置向けの厚板を含む「その他」は二桁減(▲25.8%)となった。「押出」は生産、出荷ともにマイナス。

◆アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績

前年比 -6.9% 5万7,390 t 5か月連続マイナス

出荷 -4.8% 5万7,543 t 11か月連続マイナス

生産・出荷ともに減少、特に出荷は10か月連続マイナス。

◆輸出

新地金 +29.7% 240 t

二次合金 -14.7% 810 t

スクラップ +23.1% 3万1,927 t

アルミ缶 -12.7% 6,670 t

◆輸入

新地金 +11.4% 9万4,451 t

二次合金 +11.7% 8万6,490 t

スクラップ -25.9% 552 t

合金スクラップ -4.8% 6,806 t

■見通し

6月の自動車生産が+5.2%。7月国内販売台数が前年比-4.2%。

8月の生産台数は、米国向け輸出の前倒し効果があった7月の高生産の反動を受け、前月比で減少傾向が強まる見込み。国内需要に支えられ緩やかな推移か。

販売台数は、新型車投入や夏のフェア需要があるため、販売の水準は一定を維持すると予想。ただし、EVは不振継続。

■スクラップ景況予想

供給面では円高を背景にやや緩和傾向が見られる一方、需要面では合金地金の生産回復と政策支援による下支えがある。総じて、需給バランスは、安定～ややタイト気味と予想される。価格は横ばいから上昇もある。

■LME・為替予想

●LME予想

世界全体として、一次アルミの供給不足が続く、スクラップへの依存度が高まっており、需給は極めてタイト。

特に米国・欧州では、関税や政策によって国際的なスクラップ流通が制約され、供給逼迫が価格を支える可能性が高い。

●為替予想 146円～154円

短期的には、米国の経済指標や日本の政治情勢が市場心理を大きく左右する可能性があり引き続き最新動向を注視。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は、2,550～2,650ドル（セツル）と予想。

スクラップ購買価格に関しては、+5から+10円上げと予想。

（「7月のアルミ概況及び8月の見通し」おわり）

非鉄金属全般・金属リサイクル

新棒コロ・砲金・銅滓

株式会社 高田商店

代表取締役 高田 晋 善

〒544-0001 大阪市生野区新今里 7-10-26

Tel.06-6753-1643 Fax06-6753-4545